

海外品の輸入代行拡大

トリプル エーマシン 円高メリット活用

粉体機器関連のメーカー「ティンク会社、トリプルエーマシンおよびコンサル」エーマシン（東京都西東

京市、石戸克典社長、電話080-3550219（274）は米国を中心と

した海外製の粉体機器・部品の直接販売および導入支援に力を入れてい

る。
従来の日本製の粉体機器の米国市場への輸出支援業務の一方、最近の円高下でコストメリットが期待できるユニークな米国製をはじめとする海外機器・部品の日本への輸入活動を進めている。すでに米タプロ社のバケツトエレベーターの樹脂製バケツの紹介など始めて

いる。

トリプルエーマシンは日本の粉体機器メーカーによる対米直接販売を営業・技術両面から支援するマーケティングおよびコンサルティンク会社として07年4月に設立。米シカゴにあるパートナー会社と連携しており、これまで機械式粉砕機、エプロンコンベア、分級機、口

タリーバルブ、除じん機、表面改質機、空気輸送装置などを取り扱っている。

これと逆に、海外から

直接購入を検討している日本のユーザーに代行して情報収集や輸入業務も行っている。とくに日本に代理店を持たない海外（主に米国の特徴ある機器・部品の直接購入を代行している。日本のユーザーからの中間マージンなど手数料が不要で、機械故障時には同社経由でメーカーのメンテナンスサポートが受けられる。

このところの円高基調から「付加価値の高い機器・部品についても安く購入することが可能」（石戸社長）とする。最近の事例では、米国タプロ社のバケツトエレベーターの樹脂製バケツがあり「日本では金属製の重たいバケツが主に使用されているが、樹脂製バケツは1個60%程度からと軽く、また衛生的で取り付け加工もミリサイズで依頼できる。全品検査により不良品対策も万全を期している（同）としている。

このほか、輸入代行製品としては米国製のハンマーミル、リボンミキサー、サイロ排出機などに

加え、イタリア製の堅型ピロイ包装機など英、仏、伊といった欧州メーカーの機器についても紹介している。

化学工業日報

2009年1月26日(月)記事